

立命館
大 学

総合情報 センターだより

CONTENTS

- 表紙 **巻頭言** 総合情報センター長から新入生の皆さんへ
- 2・3 **総合情報センターの役割・組織再編**
IT(Information Technology)を活用して充実した大学生活を送ろう
- 4・5 **立命館総合情報システムRAINBOWの紹介**
- 6 **先輩に聞く!①** ~図書館へのお誘い~
- 7 **先輩に聞く!②** ~コア・データベースを使ってみよう!~
- 8 **雑誌記事をCD-ROMで探す! / 2001年度開館・開室時間**

新入生の皆さん、 入学おめでとうございます。

皆さんは21世紀最初の本学入学生です。

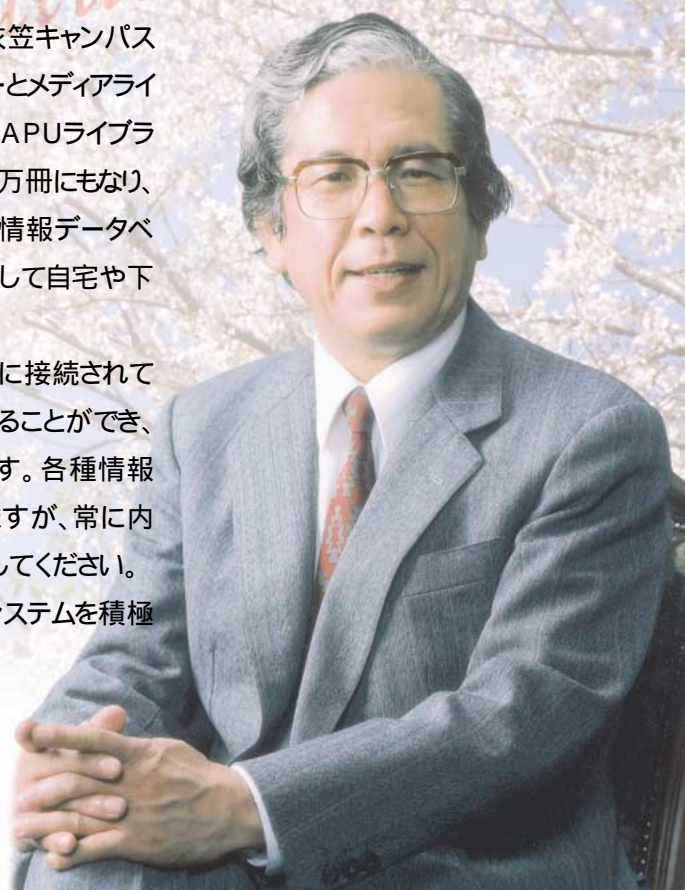
ご存知の通り、ここ数年IT(インフォメーション・テクノロジー)をキーワードとするさまざまな動きが社会にあふれ、“ITで開く21世紀文明”とまで云われています。「総合情報センター」は学園内でのIT中枢機能を担っている部門であります。

総合情報センターにおける図書館機能を担う施設には、衣笠キャンパスに図書館と修学館、びわこ・くさつキャンパスにメディアセンターとメディアライブラリーなどがあります。また立命館アジア太平洋大学にはAPUライブラリーがあります。蔵書冊数は3キャンパスをあわせれば約215万冊にもなり、この他に雑誌や新聞、また電子ジャーナルを含む多様な学術情報データベースを有しています。これらの学術情報は、インターネットを介して自宅や下宿からも文献の所在調査や情報検索、資料入手ができます。

一方、学内には5,000台以上のコンピュータが、ネットワークに接続されており、電子メールや電子掲示板、またインターネットを利用することができ、ネットワークを介して様々な情報の収集や情報発信ができます。各種情報サービスの詳細は総合情報センターのホームページにあります。常に内容が変化していますので、日頃からホームページを見るようにしてください。

総合情報センターは、皆さんがこの様な学術情報や情報システムを積極的に活用し、充実した学習生活を送られることを希望します。

立命館大学総合情報センター長 **濱川 圭弘**



総合情報センターの役割・組織再編

1. 総合情報センターの役割

今日の社会において、情報化はあらゆる産業に影響を与え、IT (Information Technology) 革命は我が国の政府を含めて急展開をみせてきています。特にインターネットは地球規模で驚異的な勢いで発達し、学術情報および情報システムをとりまく環境は大きく変化してきています。そうした中において本学は、今日の急速な情報処理技術の発達や情報のデジタル化、また本格的なネットワーク時代の到来を察知し、学術情報部門(図書館機能)と情報システム部門を統合し、1998年4月に総合情報センターを発足させました。

本センターが担っている機能の概要は、図書・雑誌やデジタル情報を含む多様なメディア情報の収集・蓄積・サービスと、大学全体のネットワーク・システムおよび学術情報や事務情報システムの開発・維持や運用支援などです。本学の蔵書は既に215万冊を超えていますが、これまでの印刷資料を中心とする伝統的な図書館サービスのさらなる拡充に加え、電子ジャーナルを含む様々なデジタル情報の検索・収集・利用がスムーズに行えるよう電子図書館機能の充実をはかっていきます。2001年度から研究の高度化および大学院の高度化を支援してい

くため、リサーチ・ライブラリー(研究図書館)の機能を設け、インターネット・レファレンス(参考調査)のサービスを本格的に開始します。

一方情報システムは、端末5,000台を擁する大規模なネットワーク・システム(RAINBOW)、学園の管理・運営を担う事務情報システム(RISING)や学術情報システム(RUNNERS)など、本学のインフラ整備の規模は全国の大学でも有数のレベルに達しています。しかし今日起こっているIT革命の方向は、これまでのハードウェアを中心とするいわゆるインフラ時代からソフトウェア中心のコンテンツ時代にシフトしてきています。新世紀をむかえ、本格的なコンテンツ時代に対応するため、教育・学習のIT化(e-learning、遠隔教育など)、情報リテラシーの高度化、学生情報サービスの向上、ホームページの充実等への支援を重点化していきます。2001年度から第4期情報基盤整備の事業を開始しますが、学術情報および情報システムの資源がより一層活用されるよう、またあらゆる「場」でIT化が展開されるようイントラネット化を重要な視点としてシステム開発を行っていきます。

2. 総合情報センターの組織再編

本センターは1998年4月に発足し今日に至っていますが、学内外の情勢はまさに「ドッグイヤー」の相を呈しています。本センターもそれに呼応して迅速に最適化を考えていかなければ、時代におくれ本来の機能が果たせないばかりか、膨大な資源が活用されないこととなります。特にここ最近注目すべきことは、大学の教育・研究・学習の環境が大きく変わり、インターネットやITを活用した教育が脚光を浴びてきていることです。それにより、本センターはこれまでの組織を大胆に見直し、2001年4月から新たなスタイルで諸活動を展開していきます。

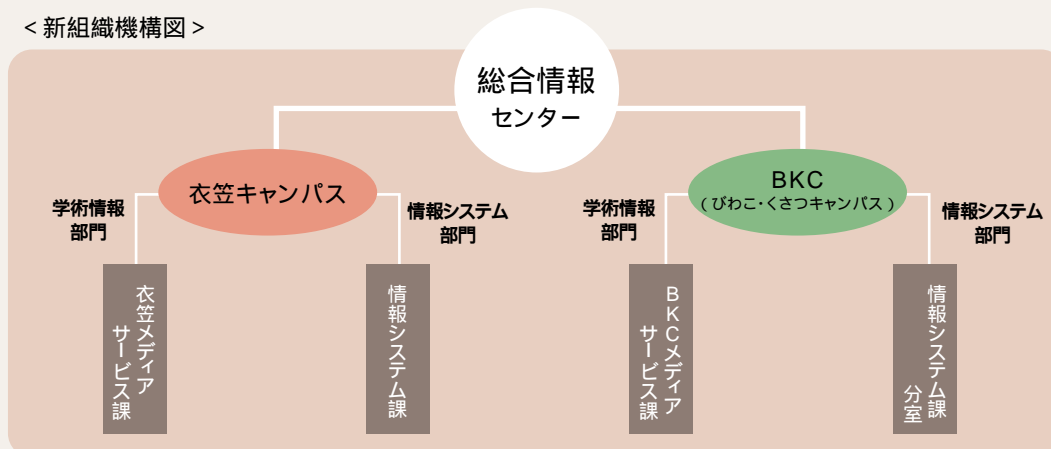
学術情報部門では、学術情報サービスの高度化の視点から迅速に機能改善・向上を展開していくことが不可欠であると考え、企画・立案機能を強化し、電子図書館の機能拡大と利用者重視の情報サービスを様々な展開していくため、BKC(びわこ・くさつキャンパス)と同様に衣笠キャンパスも1課体制に再編します。そして、リサーチ・ライブラリー

の機能を両キャンパスに設け、APU(立命館アジア太平洋大学)とも連携をはかりながら教育・研究・学習の発展のため、より一層の支援を行っていきます。

一方情報システム部門においても、これまでの2課体制を改め1課体制に統合再編し、e-learningや学生情報サービスの高度化、多様な学内情報のデータベース化等のIT化要求に応えていきます。大学のIT化を真に進めていくためには、現行のRAINBOW、RISING、RUNNERSの3システムのさらなる融合化と、インターネット技術を最大限に取り入れ、イントラネット化をはかる必要があります。

コンテンツ時代における大学のIT化を中心から支えるため組織統合のメリットをより一層発揮し、学術情報サービスや情報システムの高度化をはかっていきます。

< 新組織機構図 >



3. ITを活用した学術情報サービス(衣笠メディアサービス課・BKCメディアサービス課)

1 利用者に対する学術情報サービス

学術情報システム(RUNNERS)

- ・学内にどんな図書、雑誌があるのか検索できます。
- ・貸出中の資料を予約したり、他キャンパスにある資料を取寄せすることができます。^{*1}
- ・今何冊借りているのか、予約・取寄していた資料が到着しているのかを確認することができます。^{*1}

データベース検索(コア・データベース)

総合情報センターでは、大学創造活動と極めて密接に関連し、進路・就職支援にも役立つものとしてコア・データベースを独自に選定し、WWWインターフェイスで利用提供しています。

レファレンスサービス

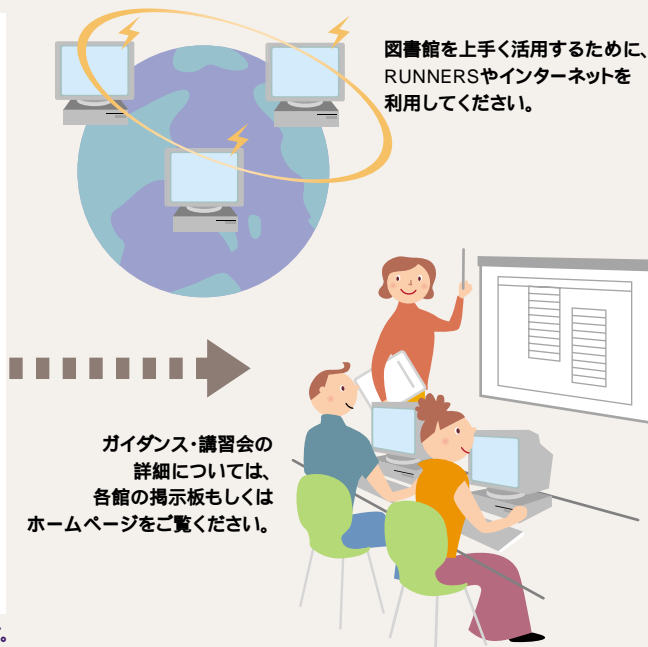
所蔵調査・事項調査など学術情報に関わる調査を行います。各キャンパスのレファレンスカウンターのほか、E-mail経由でも受け付けています。

購入希望サービス

利用者の方から図書の購入希望を受け付けています。各図書館の窓口のほか、E-mail経由でご利用ください。

ガイダンス・講習会の開催

新入生・編入生・留学生ガイダンス、ステップアップセミナー、卒論対策講習会、RUNNERS講習会、データベース講習会などを開催しています。



(*1)インターネット経由でサービスを受ける場合、RAINBOW IDもしくはAPU-Net IDが必要です。



2 大学院学生・教員に対する学術情報サービス

研究のためのライブラリーとして、リサーチライブラリーを設置しています。

リサーチライブラリーには、研究者のより高度なニーズに対応できる参考調査の担当者を配置しています。

ドキュメント・デリバリーサービス(本学所蔵資料のコピーサービス 有料)を行う予定です(専任教員のみ)。

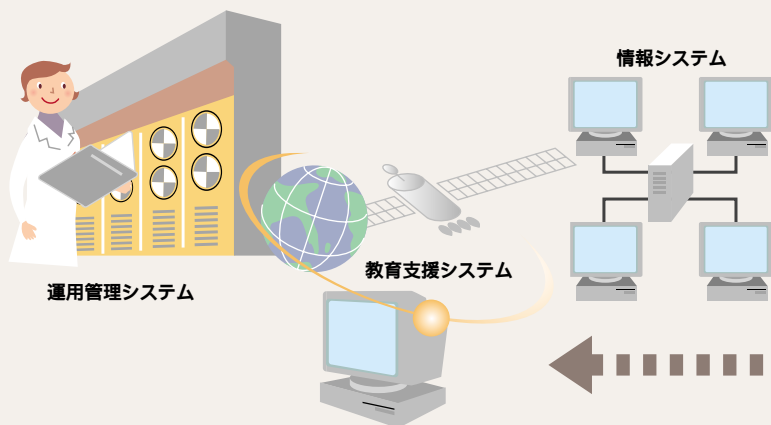
4. ITを活用した情報システムサービス(情報システム課)

1 利用者支援サービス

コミュニケーションシステム(電子メール・WorldWideWeb・NetNewsなど)などのインターネットを利用した情報収集・発信などの支援をしています。

大学全体のネットワークシステム(RAINBOW)の基本的利用の仕方などを理解できる講習会の開催、RAINBOW-Staffによる日常的な利用者支援、Technical support staffによる技術支援などを行っています。

ガイダンス・講習会の詳細については、ホームページをご覧ください。



2 情報システムサービス

教育支援システム

授業支援システム、マルチメディア教材支援(メディアアラゴ)、視聴覚教材貸出サービス、その他情報教育施設、情報語学教育施設の支援、サテライト授業支援システムを運用・管理しています。

情報システム

学術情報システム(RUNNERS)、事務システム(RISING)の開発、運用・管理、データベースの構築、検索システムの開発・支援をしています。

運用管理システム

ネットワーク監視、利用者情報システムの維持管理をしています。

電子メールやホームページの閲覧など、

コンピュータネットワークの利用は、学生生活に必要不可欠です。

本学では、教育・研究を支援するための情報基盤として

RAINBOW(Ritsumeikan Academic Information Network Bridging Our World)を整備し、

キャンパス内にインターネットに接続したパソコンが自由に使える部屋(オープンパソコンルーム)や、

各種データベースなどを用意し、学習や就職活動を支援しています。

IT(Information Technology)を活用して充実した大学生活を送ろう

RAINBOW

オープンパソコンルームや自宅から
インターネットや電子メールを利用するためには、RAINBOWユーザーIDとパスワードが必要です。

このユーザーIDとパスワードは、全ての学生の方に「ユーザーID通知書」で情報教育の授業などで配布しています。特にパスワードは、人に知られたりしないように管理してください。また、ユーザーIDは電子メールアドレスも兼ねています。

どこでインターネットや電子メールができますか？

自習目的で利用できるオープンパソコンルームが用意されています。5ページに記載されているキャンパスマップを参考にしてください。なお、利用にはRAINBOWユーザーIDとパスワードが必要です。



RAINBOW・ユーザーID通知書

自宅からホームページを閲覧したり電子メールが利用できますか？

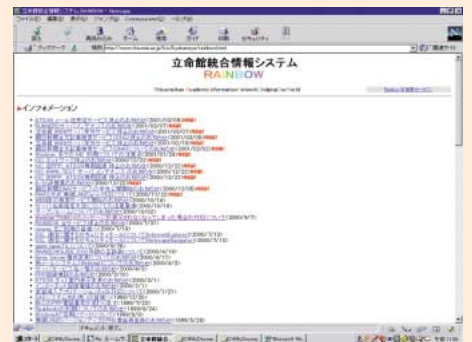
パソコンと電話回線があれば、自宅からでもRAINBOWに接続することができます。詳しくは、RAINBOW-GUIDEやRAINBOWのホームページを見るか、情報システム課窓口でご相談ください。

RAINBOW-GUIDE



RAINBOW-GUIDEをよく読もう!

パスワードの重要性や変更方法、RAINBOWで何ができるのか、どのように使えばいいのか、使う上での注意事項は何か、など「RAINBOWのいろは」がRAINBOW-GUIDEに解説されていますので、良く読んでからRAINBOWを利用してください。



RAINBOW ホームページ

困った時は...

各オープンパソコンルームには学生スタッフ(RAINBOW-Staff)が常駐しています。パソコンを利用して、困ったときは相談してください。また、情報システム課の窓口でも学生スタッフが利用相談に加え、各種申請の受付や、マニュアル配布も行っています。

情報システム課の窓口(受付時間は平日の9:00 ~ 21:30)

衣笠キャンパス 有心館1F

びわこ・くさつキャンパス アクロスウィング2F

OPEN PC ROOM

衣笠キャンパスの オープンパソコンルーム

恒心館 1F

WindowsNT...60台
平日/9:00 ~ 18:00
土・日・祝日/閉室
図書館月末休館日/
9:00 ~ 21:30

尽心館 BF

WindowsNT...80台
平日/9:00 ~ 21:30
土・日・祝日/閉室

図書館 1F

WindowsNT...121台
平日/9:00 ~ 22:00
土・日/10:00 ~ 17:00
月末休館日/9:30 ~ 18:00
図書館開館日程を確認して下さい。

有心館

3F マルチメディアルーム
WindowsNT...2台
Macintosh...1台
平日/9:00 ~ 18:00
土・日・祝日/閉室
1F 情報システム課
(申請・利用相談窓口)

OPEN PC ROOM

びわこ・くさつキャンパスの オープンパソコンルーム

コーニングハウス 3F

授業がない時に利用できます。
情報処理演習室8
WindowsNT...108台
平日/10:30 ~ 18:30
土・日・祝日/閉室

エクセル1

授業がない時に利用できます。
2F 共同計算機実験室1・2
ワークステーション...130台
平日/9:00 ~ 20:00
土・日・祝日/閉室

メディアセンター 1F

PC-UNIX...35台
WindowsNT...10台
平日/9:00 ~ 20:00
土/10:00 ~ 17:00
日/13:00 ~ 17:00
別途開館日程を確認して下さい

プリズムハウス

授業がない時に利用できます。
2F CAD/CG演習室2・3
WindowsNT...90台
3F 情報処理演習室4
PC-UNIX...75台
平日/9:00 ~ 20:00 土・日・祝日/閉室
(3F情報処理演習室4のみ 土/9:00 ~ 15:00)

アクロスウィング

3F WindowsNT...60台
平日/9:00 ~ 21:30
土/10:00 ~ 17:00
日/13:00 ~ 17:00
別途開館日程を確認して下さい
2F 情報システム課分室
(申請・利用相談窓口)

senior message

先輩!
に聞く!

1

図書館へのお誘い



文学部史学科日本史学専攻 4回生
片山 祐貴さん

所蔵資料は
215万冊

私は中世後期を研究するゼミに所属しています。自分でテーマを設定し、関連する資料を図書館などから集めて、最終的には卒業論文にまとめあげなければなりません。ゼミ発表の前になると、ほぼ毎日図書館や修学館の人文系文献資料室を利用します。

立命館大学の図書館(衣笠)、メディアセンター(BKC)、メディアライブラリー(BKC)、そして立命館アジア太平洋大学のAPUライブラリーの所蔵資料は合わせて約215万冊にも及びます。衣笠キャンパスだけでも155万冊もの資料が所蔵されています。



便利な
RUNNERS

膨大な蔵書の中から必要な本を探し出すためにはRUNNERS^{*1}による蔵書検索をお勧めします。キーワードから簡単に検索できるし、本のある場所や、貸出中かどうかなども一目で分かるので大変便利です。

以前、発表に必要な本が本学の図書館になかったことがありました。図書館のカウンターで相談したところ、その本を所蔵している全国の図書館や資料室を紹介して貰えてとても助かりました。私は直接そちらを訪れた^{*2}のですが、時間に余裕がある場合には、本学の図書館に資料を取り寄せる^{*3}こともできます。

自宅にパソコンを持っていれば、インターネットを通してRUNNERSの蔵書検索が使えるので、休日に図書館に行ってみたら利用したい本が貸出中で、書架になくてがっかり、なんて事もなくていいですね。

図書館のサービスを
使いこなそう

図書館のホームページからはいろんな情報サービスが利用できます。例えば「コア・データベース」^{*4}の中の「和書コンテンツデータベース」では、本の目次や「おび」情報から本を検索することができますし、「日経テレコン21」や「朝日新聞DNA(Digital News Archives)」では、新聞や雑誌に掲載されている過去の記事から最新の情報まで簡単に手に入れることができます。こうしたサービスを利用すれば、より効率的に資料探しが出来ると思います。この他に、古い本を探す場合は、カード目録や、冊子体目録等を利用する方法もあります。いろんなサービスを目一杯活用して、良い卒業論文を書きたいです。

*1...RUNNERSは、図書管理(発注・受入・登録・支払)システム、目録管理システム、閲覧管理(貸出・返却・所在管理)システム、蔵書検索(オンライン閲覧用目録)システム、ILL(国公立大学図書館間相互貸借)システムからなるトータルシステムです。

*2...他大学の図書館を訪ねる場合は、立命館大学が発行する紹介状が必要です。各カウンターで所定の手続きを行ってください。

NACSIS Webcatでは、全国の大学図書館等が所蔵する図書、雑誌をWWW上で検索できます。NACSIS Webcatへは総合情報センター/図書館ホームページの中の「関連リンク集 総合版」からアクセスできます。また、OCLC FirstSearchのWorldCatでは、世界のOCLCメンバーの図書館が所蔵している図書、雑誌などの所蔵情報が検索できます。WorldCatへは図書館ホームページからアクセスできます。(ただし、RAINBOW IDとパスワードが必要です。)

*3...学外諸機関からの文献取寄せは各カウンターでお申し込みください。現物貸借・文献複写などの学外文献取寄せに要した送料・複写料(実費)等は申込者の負担となります。また、現物貸借の場合は館内利用のみとなります。詳しくは各カウンターでお尋ねください。

*4...立命館大学では、教育・研究活動に必要な基幹的なデータベースを「コア・データベース」として利用者に提供しています。

【提供しているコア・データベース】

- 1.日経テレコン21
- 2.朝日新聞DNA
- 3.OCLC FirstSearch
- 4.LEXIS-NEXIS
- 5.DialogSelect
- 6.ProQuest
- 7.Elsevier Science Direct
- 8.洋雑誌コンテンツデータベース
- 9.和書コンテンツデータベース
- 10.出版情報データベース

「コア・データベース」へは総合情報センター/図書館のホームページからアクセスできます。詳しくは「[学術情報データベース活用ガイドブック](#)」を参照してください。

先輩に聞く! 2

コア・データベースを使ってみよう!

新入生の皆さん入学おめでとうございます。

大学の授業・学習においては図書資料だけでなく、学術情報データベース、情報システムの活用がとても大切となります。図書館が所蔵しているたくさんの資料や設備をうまく利用していかなくてはなりません。

大学では高校までと違い、コンピュータを使うことによって様々な情報を取り入れることができます。特に一般教養科目や専門科目の授業で関心を持った事柄についてより詳しい知識や情報を取り入れる手助けをしてくれます。

その一つとして大変有用なコア・データベースがあります。コア・データベースは10種類あり、目的や用途にあわせて様々な情報を簡単に取り出すことができます。例えば、「日経テレコン21」は日本経済新聞4紙を中心に新聞・雑誌記事検索をはじめ、企業・財務情報などを提供しています。

「DialogSelect」は5万点以上の雑誌、80以上の世界的な新聞、ニュース等の情報が利用できます。コア・データベースは図書館のホームページから自由にアクセスすることができます。

昨年筑波大学の白川教授がノーベル化学賞を受賞しました。導電性ポリマーという電気を通すプラスチックを発見開発されました。専門科目の講義や新聞、ニュースによってたくさんの情報は得られましたが、私は白川氏についてもっと詳しい情報や論文、出版物に関心を持ったので、コア・データベースを使ってみることにしました。まず、和書の出版物を検索するときには「和書コンテンツデータベース」を使います。キーワードとなる言葉(例:白川英樹)を入力し検索をクリックします。すると出版物のタイトルと出版社、出版年

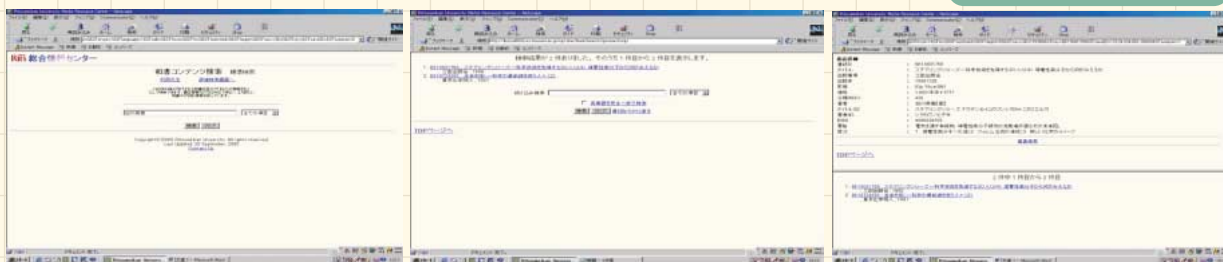


理工学部応用化学科 2回生
近藤 美也子さん

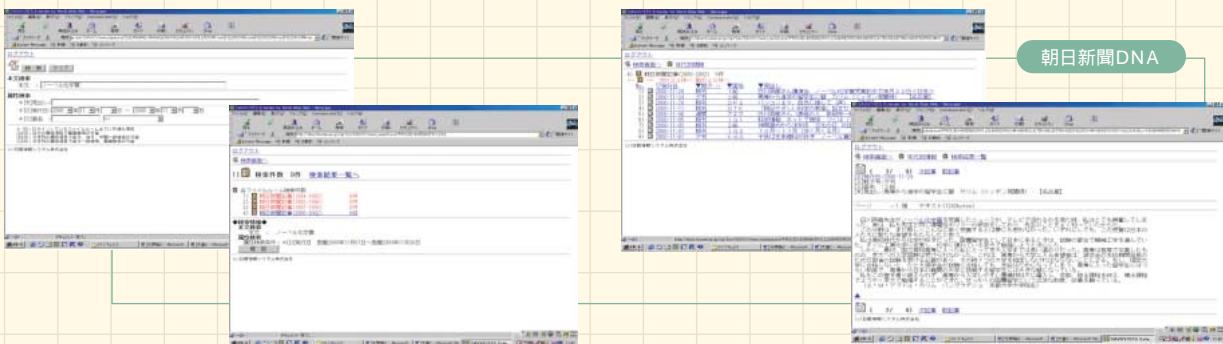
度が表示されます。さらに、タイトルをクリックすると詳しい書誌情報が表示されます。蔵書検索をクリックすると立命館大学にその本が所蔵されているか、どの図書館のどの場所にあるのかがわかります。また、外国雑誌に掲載されている論文を検索するときには「洋雑誌コンテンツデータベース」を使ってキーワードとなる言葉(例: shirakawa hideki)を入力して検索します。さらに、新聞記事を検索したいときには「朝日新聞DNA」を使います。キーワードとなる言葉(例:ノーベル化学賞)を入力し発行年月日を選択すると、朝日新聞やAERA、週刊朝日などに掲載された記事が検索でき記事の全文を読むことができます。

キーワードを入力するだけで簡単に検索でき、必要な情報が手に入るのわかるのではないのでしょうか? これから先大学生活を送っていく中で多くの疑問が生まれたり、新しいことに興味を持ったりすることがあると思います。そんな時にはぜひコア・データベースを使ってみることをお勧めします。

和書コンテンツデータベース



朝日新聞DNA



雑誌記事をCD-ROMで探す!

キーワードを入力するだけで、論文を簡単に検索できます。

『大宅壮一文庫雑誌記事索引 CD-ROM版』

図書館(衣笠)のCD-ROMコーナーで利用できます。

大宅壮一文庫の雑誌記事索引です。大宅壮一文庫とは、国内最大の雑誌専門図書館です。収録対象は一般誌が中心で、検索は自由に思いついた言葉で探せます。また、雑誌のジャンル、人物の職業ジャンル、記事の種類でも検索ができます。レポートや論文作成のための資料として、大いに役立ちます。

『Historical abstracts on disc』

修学館1階共同閲覧室のCD-ROMコーナーで利用できます。

歴史学関連の欧文の文献データベースです。収録対象は、1955年以降に刊行された歴史学関連の雑誌、図書や学位論文等で1450年以降の近、現代史に関するものの書誌情報です。

『PCI(Periodical Contents Index)』

図書館(衣笠)・修学館1階共同閲覧室のCD-ROMコーナーで利用できるようになります。(2001年4月から)

米欧(米英伊独仏他)の人文社会科学雑誌記事索引の唯一のデータベースです。今回は、Series I Segment 1, 2, 3(北米雑誌、ヨーロッパ雑誌)の購入となります。収録対象は、1800年後半(一部)から1960年までに刊行された主要な人文・社会科学系学術雑誌の目次情報です。

『雑誌記事索引 CD-ROM版』

図書館(衣笠)・修学館(共同閲覧室・人文系文献資料室)・メディアライブラリー(BKC)の各CD-ROM検索専用端末で利用できるおなじみのデータベースです。

国立国会図書館で所蔵している国内発行の雑誌論文の索引が検索できるデータベースです。収録対象は、国内発行の学術雑誌や大学紀要などに掲載された論文で、論文タイトル、著者名、掲載雑誌名、巻号、ページなどが収録されています。レポートや論文作成のための利用のほか、企業名などのキーワードを入力して関連記事を検索し、就職活動の資料としても利用することができます。

開館・開室時間



衣笠

	平日	土曜日	日曜日	休館
図書館	9:00 ~ 22:00 (試験期間中/8:40 ~ 22:00 休暇中/9:30 ~ 19:30)	10:00 ~ 17:00	10:00 ~ 17:00	各月末作業日、祝日、 8/13 ~ 16、12/29 ~ 1/3 その他臨時休業日
修学館 共同書庫 共同閲覧室 人文系文献資料室	9:00 ~ 20:00	休館	休館	祝日、大学休業日、その他臨時休業日 *人文系文献資料室のみ書庫整備作業の為、 毎月15日(原則)休室(休業日の場合翌日)
RAINBOW オープンパソコンルーム	開室時間、施設の設置場所については、P5の「RAINBOWキャンパスマップ」をご覧ください。			

文学部以外の学部学生が人文系文献資料室を利用希望の場合は、図書館、メディアセンター、メディアライブラリー各カウンターで利用申し込みをしてください。図書館オープンパソコンルームの開室時間については、「オープンパソコンルーム利用時間のご案内」をご確認ください。

BKC

	平日	土曜日	日曜日	休館
メディアセンター	9:00 ~ 20:00 (休暇中/9:30 ~ 19:30)	10:00 ~ 17:00	13:00 ~ 17:00 (休暇中/休館)	館内作業日、祝日、全学一斉休業期間、 その他臨時休業日
メディアライブラリー	9:00 ~ 21:30 (休暇中/9:30 ~ 19:30)	10:00 ~ 17:00	13:00 ~ 17:00 (休暇中/休館)	館内作業日、祝日、全学一斉休業期間、 その他臨時休業日
RAINBOW オープン施設	開室時間、施設の設置場所については、P5の「RAINBOWキャンパスマップ」をご覧ください。			

メディアセンター、メディアライブラリーのマルチメディアルームはそれぞれの開館時間どおり。

開館・開室時間及び、利用方法等の詳細については、開館日程表やホームページをご覧ください。

総合情報センターホームページアドレス <http://www.ritsumei.ac.jp/www-lib/>